

錦城高校新聞

題字 井口 文章
再刊 第246号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2017

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：水曜日は選挙！あなたは誰に入れる？
三年生、TEAPを無料で一言受験
二面：進路の秋！進路講演会・学部説明会
小平スポーツまつり特集



10月27日、ESS部で毎年恒例のハロウィンパーティーが開催されました。キース、パトリックとともに部員達が仮装して楽しみました。

衆議院選、錦城生の投票率を大調査

10月22日(日)に行われた衆議院議員総選挙について、3年生を対象にアンケートを実施した。

選挙権を持つ生徒は全体の58%。その中で投票に行ったと回答したのは76%、投票に行っていないと答えたのは24%となった(図①)。投票に行かなかった理由で多かったのは「模試などの予定があった」「台風の強風、大雨で投票できなかった」と意気込んだ。

「女子が多い生徒会の中で、女子と男子との仲介役をしたいと思います。自分にできることがあったら全力でやります」と意気込んだ。

4月22日(日)に行われた衆議院議員総選挙について、3年生を対象にアンケートを実施した。

選挙権を持つ生徒は全体の58%。その中で投票に行ったと回答したのは76%、投票に行っていないと答えたのは24%となった(図①)。投票に行かなかった理由で多かったのは「模試などの予定があった」「台風の強風、大雨で投票できなかった」と意気込んだ。

「女子が多い生徒会の中で、女子と男子との仲介役をしたいと思います。自分にできることがあったら全力でやります」と意気込んだ。

あなたの一票で錦城の未来が変わる

候補者8名、それぞれの思い語る

11月8日(水)6時間目に生徒会選挙が行われる。今回は合計8名が立候補、決選投票は3つだ。候補者たちはどのような思いで立候補し、就任後は何をしようと考えているのか聞いた。

生徒会長候補
村本夏望さん(2A)



洋楽を聞くのが好きです

就任したら…
「中央委員会と代議委員会の仕事を明確にします」
部活：映画研究部、写真部
自分を一言で表すと…
「歩く意見箱」

副会長候補
佐野文音さん(1B)



体を動かすことが好きです

就任したら…
「意見箱の意見を積極的に取り入れ、問題改善に努めます」
部活：弓道部
自分を一言で表すと…
「変なところまで几帳面」

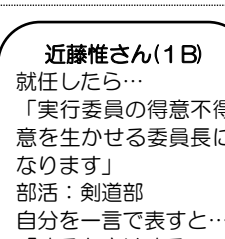
副会長候補
松本千冬くん(1H)



忙しい生活の中でも「笑顔大切に」

就任したら…
「錦城の良さを校外に広めていきたい」
部活：ダンス部
自分を一言で表すと…
「ある意味変わってる」

副会長候補
近藤惟さん(1B)



種類の中ではうどんが好きです

就任したら…
「実行委員の得意不得意を生かせる委員長になります」
部活：剣道部
自分を一言で表すと…
「やる時はやる」

監査委員長候補
小嶋祐輝くん(2A)



好きな科目はSRです

就任したら…
「設備の老朽化修繕の提言をしたい」
部活：ワンダーフォーゲル部
自分を一言で表すと…
「結果主義」

監査委員長候補
三浦楓さん(2L)



誕生日は選挙当日の11/8です

就任したら…
「見える化を達成したい」
部活：美術部
自分を一言で表すと…
「猪突猛進」

監査副委員長候補
小林俊介くん(1A)



好きな食べ物はから揚げです

就任したら…
「没収のない、メリハリのある学校にしたい」
部活：文芸部、将棋部
自分を一言で表すと…
「恥ずかしがり屋」

むらさき草

今話題のフリマアプリでネットショップとは違い、個人間の売買ができるアプリだ。全国の15歳から69歳1万5千人についてフリマアプリ利用実態調査によると、存在を知っている人は66%、利用している人は21%という結果だ(マクロミル、2017年5月の調査より)。

フリマアプリが支持される理由の一つは、「ゴミが商品に変わる」ということだ。商品を見るときは、ゴミが商品に変わるという理由で、商品には不要なものが多い。フリマアプリで売れば、ゴミが商品になる。フリマアプリで売れば、ゴミが商品になる。フリマアプリで売れば、ゴミが商品になる。



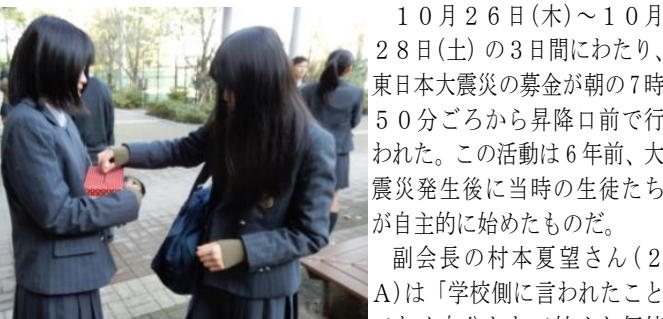
「大学受験の幅が広がる」と神谷先生

3年生TEAPを受験

10月1日(日)、本校3年生が首都圏の各大学でTEAPを受験した。TEAPとは、Reading、Speaking、Listening、Writingの4技能で構成されている。TEAPの導入について、英語科主任の神谷先生は「TEAPは受験に役立ちます。受験形式が多様化する中で、一つの選択肢として有益だと思われ採用しました」と語った。

また、今年度3月からは校内でイングリッシュスピーキングが実施される。この取り組みは、英語を積極的に使っていくことが一つの有益な資質になると思われ採用した。

「震災を風化させないために」募金を実施

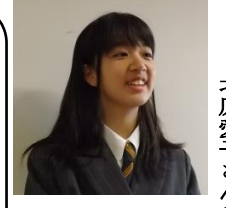


昇降口前で募金をする生徒

10月26日(木)～10月28日(土)の3日間にわたり、東日本大震災の募金が朝の7時50分ごろから昇降口前で行われた。この活動は6年前、大震災発生後に当時の生徒たちが自主的に始めたものだ。

副会長の村本夏望さん(2A)は「学校側に言われたことではなく自分たちで始めた価値のあることだし、東日本大震災を風化させないためにも、これからも募金活動は続けていきます。もし機会があれば募金以外の活動も積極的に行っていきたくです」と今後の展望を話してくれた。

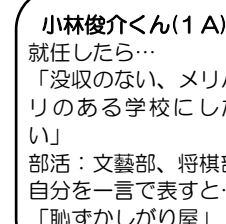
北原愛子さん(1B)
就任したら…
「錦城の風紀改善をめざします」
部活：弓道部
自分を一言で表すと…
「地道に努力するタイプ」



絵を描くことが趣味です

北原愛子さん(1B)
監査副委員長候補
就任したら…
「見える化を達成したい」
部活：美術部
自分を一言で表すと…
「猪突猛進」

小林俊介くん(1A)
就任したら…
「没収のない、メリハリのある学校にしたい」
部活：文芸部、将棋部
自分を一言で表すと…
「恥ずかしがり屋」



好きな食べ物はから揚げです

小林俊介くん(1A)
監査副委員長候補
就任したら…
「没収のない、メリハリのある学校にしたい」
部活：文芸部、将棋部
自分を一言で表すと…
「恥ずかしがり屋」



将来の自分に最善の選択を

1・2年生進路への知識深める

10月4日(水)、1年生は進路講演会でマイナビの方から文理選択の話や聞き、2年生は各大学の講師からそれぞれの学部についての講義を受けた。文理選択が迫る1年生に進路に対する思いを取材した。

農業だけではない農学

東京農業大学の吉松泰史さんによる農学の講座が行われた。農家などのイメージが強いが、林業や海洋資源、農業経営という文系向けの学部など様々な分野が存在する。そのため、大学でやりたいというだけなく、就職を見据えた学部選びが大切だという。吉松さんは「大学に入ったその先を考えられるように、勉強や部活を頑張れば、おのずと結果はついてくると思いきや」とアドバイスを送った。

経済の構成要素から学ぶ

商学では中央大学商学部事務室の矢崎達さんによって講義が行われた。混同されやすい「経済学」と「商学」をそれぞれ「森」と「木」に例え、経済学は主に経済全体を、商学は主に経済を構成する企業について学ぶことを説明してくれた。

食を通して社会で活躍

女子栄養大学入試広報課の廣田典子さんは家政学(食物・栄養学)を中心に講義がなされた。家政学は、家庭生活に焦点を合わせた研究の学問だ。栄養学の知識を持つ管理栄養士や栄養士は、アスリートや宇宙飛行士の栄養サポート、病院や学校の給食の献立などで活躍している。



熱心に説明を受ける2年生。11月には受験に向けての選択が本格化する。この実りの秋に何が出来るのがそれぞれの進路へのカギとなる

1年生講演会 文理選択

10月4日(水)には1年生を対象とした進路講演会が行われた。文系理系のコース選択を間近に控えた1年生に対して、マイナビの阿部裕也さんから進路についての講演が行われた。



「1年生の今の時期から進路を考えることが大事」と阿部さん

文理選択 最後は自分で決断を

コース選択が迫っている1年生。もうコースを決めた人もまだ決めていない人もいるだろう。そこで、編集部では1年生は今どんな不安を感じているのかを聞いてみた。

文一希望のAくんは、将来の夢が保育士なのだという。しかし「文系科目を高いレベルに磨けるか不安です」と話す。Bさんが文口を希望する理由は「理系の職業より文系の職業に魅力を感じたし、よ

進路講演会で最初に阿部さんは、高1の10月頃から進路について考えることで、進学の満足度が80%を超えるという調査結果を紹介。1年生の頃から進路を考える重要性を話した上で、文系理系それぞれの特徴やコース選択のポイントへと話を展開した。

講演後阿部さんは自身の大学受験について、「常に将来を見据えることでモチベーションを保ちました」と話した。錦城生も「やりたいことや自分が勉強したいことを常に考えることで、やる気が途絶えなないようにしては」とアドバイスを送った。

コース選択には将来の夢や大学で行きたい学部、得意科目など様々な理由があり、迷う人もいるだろう。編集部は2年生が自分で選んだコースを実際どう感じているのか調査した。

2年生に自分が選んだコースの特徴を聞き、それをまとめたものは左下の通り。コース選択は様々な視点から考える必要がある。1年生の中には、この時期に自分の将来の方向性を決めるとい

みやぎ総文特集 震災から6年半 ④ 「観光客だけでなく地元の人のためにも」

第4回目となる「震災から6年半」今回は仙台市宮城東部の終着駅・荒井駅に隣接する「せんだい3・11メモリアル交流館」を紹介する。交流館に入ると目に留まるのは壁一面の荒浜地区付近の立体地図。色分けにより津波による浸水地区が分かるようになっている。震災後に何か震災について知ることが出来るものを作ろうということになり、この地図を作ることになったそうだ。地元の人には地図を見て津波による浸水地域の広さに驚きながら会話をしていることも多いそうだ。同館



壁一面にある立体地図を使って津波の被害を説明する

職員の方は「観光に来た方だけでなく地元の方も興味を持って見ることが多いです。それを見るところの地図を作って良かったなと思います」と笑う。

2階には震災前後の写真が展示されている。この写真は津波の悲惨さを伝えるだけでなく、地元の方に懐かしさを感じてもらうために展示しているのだという。写真を見て取った西尾さんは「周りに姉川地震を経験した人がいないから、自分の高校から災害に対する考えを伝えていきたい」とこれから見据えて話した。

悩む人もいるだろう。しかし、将来の夢や大学の学部に入ったコースを自分で選ぶことは大事なことだ。2年生からも「自分で決めるのが一番いい」という意見が出た。将来のことまで見据えた、後悔しない選択をしよう。

今回は鈴木町にある「和菓兄弟子の紹介。開店したころ玉川屋」に行ってきた。周りは林ばかりで人気の寂しいところだったが、少しずつお客さんが増えていった。お客さんが増えたらいいと感じる。昭和50年にこのお店を立ち上げた和菓兄弟子の紹介。開店したころ玉川屋

2020五輪に向け 小平でもイベント盛りだくさん

小平スポーツまつり パラリンピック体験

10月8日(日)、小平市の市民総合体育館にて「小平スポーツまつり」が開催され、パラリンピック正式競技の体験やパン食い競争が行われた。今年のもつりには、小平市在住のパラリンピック卓球選手候補の佐藤泰巳さんと川崎瑞恵さんが招かれて講演と卓球の実演も催された。



パラリンピック卓球選手候補の川崎瑞恵さん(左)と佐藤泰巳さん(右)

聴覚障害者のオリンピックといわれるデフリンピックで、卓球のダブルス女子団体銅メダルを獲得した川崎選手は、手話通訳を通じて取材に答えてくれた。川崎選手が卓球を始めたのは中学生の頃。響を受けたそうだ。

小平でオリンピック メダルにふれる

10月4日(水)〜9日(月)に開催された「メダルの魅力」が小平市平柳田中彫刻美術館で開催された。1976年のモントリオール五輪・女子バレーボール金メダリスト吉田(旧



いままでのメダルの思い出を語る吉田さん

姓・高柳)昌子さんの金メダルなどが期間限定で展示。9日には吉田さん本人によるトークイベントが同館で行われ、世代問わず様々な人が訪れ練習したけど、目標に向か

「勝ちたい、一番になるという一心で達成してもらえたメダルたちです」と歴代のメダルについて話すも、やはりオリンピックメダルには格別の思い入れがあるという。「日本というチームの一員として勝ち取ったもの。メダルを見ると、どれだけがんばったか思い出されます。最後に高校生へメッセージです。毎日8〜10時間の厳しい練習だったけど、目標に向かって頑張ったんだものがある。あきらめないで努力を続けてください」とエールを送った。(加・藤)

2年生の意見
○文I・特進英語
・科目数が少ない分、一つでも苦手なものがあるとかなり厳しいかも…
・文Iは甘えてはいない。勉強しないのが甘え。
○文II・特進文理
・教科が多くて大変だけど、その分色々なことを知ることが出来ます。
・思った以上に辛いです。覚悟したほうがいい。
・数学と歴史を学んだ。文・理に偏らないので飽きることはないです。
○理系・特進理数
・理系科目が思ったより難しく、もっとちゃんと考えてから決めればよかった。
・疑問を解けたときの達成感でこのコースで良かったと感じる。
・理解するまでが大変だけど、理解すれば楽しい。



丸ごとブルーベリーの入った『あんどうなつ』税込140円

減多に受賞できるものではなく、食品関係者の憧れの賞だといえます。小日向さんは中学卒業後、和菓子屋で働いている親戚の影響で和菓子職人を志し、目黒にある玉川本店で修業を積んだそうです。ここ小平市にお店を持つことになったのは

今回の商品は「ブルーベリーあんどうなつ」と和菓子屋さんでアンドーナツとは珍しいですね。この商品はドーナツにブルーベリーをいれたらどうなるのか、という思いがけぬ誕生したそうです。ふわふわした口あたりを生地にやさしい甘さのあん。その中にはまるごと一粒ブルーベリーが入っています。ぶちぶちとした食感がいいアクセントになっています。大きさはお饅頭ぐらいなので、とても食べやすいです。心を込めて作られたほっとする甘さの和菓子。みなさんもぜひ味わってみませんか？

「くだいら食い倒れ 小平ブランドめぐり」
今回は鈴木町にある「和菓兄弟子の紹介。開店したころ玉川屋」に行ってきた。周りは林ばかりで人気の寂しいところだったが、少しずつお客さんが増えていった。お客さんが増えたらいいと感じる。昭和50年にこのお店を立ち上げた和菓兄弟子の紹介。開店したころ玉川屋

大会報告
女子フットサル部
▽10月7日(土)
グリーンカップ神戸アリーナ
3位
▽10月9日(月)
FUJIMI CUP
Kチーム1位 Jチーム3位

生徒会動静
9.13〜11.6
合唱祭実行委員会
10月10日(火)等
HR中央合同会議
10月10日(火)
選挙管理委員会
10月11日(水)等
代議委員会
10月31日(火)等
図書委員会
11月1日(水)等
体育学芸委員会
11月6日(月)
中央委員会
随時活動
対象期間が長かったため、最新の動静だけ載せています